

育て 未来の有権者

知りたがりi s m × 興南中学校

どうする生徒会!?

会長選 8候補がラジオ討論

28日投票開票の県知事選を前に、若い世代の選挙への関心を高めるために活動している学生団体「知りたがりi s m」(野中光代表)と興南中学校(那覇市、久貝宮一校長)は、同中学校の生徒会長選挙に立候補した生徒8人による討論会をFMレキオ(那覇市、周波数80.6MHz)で23日に放送する。16日に同放送局スタジオで収録があり、候補者が生徒会の運営について議論した。身近な選挙を通して、未来の有権者に政治への関心を高めてもらうのが狙い。

23日に放送

2010 県知事選
未来への選択
11.28

をしっかりと実行しなければならぬという責任を感じた」と語った。
討論は23日午後5時、FMレキオの番組「ゆるやかネットワークをつくらう」で放送する。学生らは討論の内容を踏まえ、18日に興南中で3年生を対象に政治に関する模擬授業を行う。

生徒会長選挙を前に公約を述べ、生徒会運営について議論する興南中学校の生徒ら=16日、那覇市おもろまちのFMレキオ



収録で8人の生徒らは「学校周辺の清掃などボランティア活動を増やす」「目安箱を設置し、生徒の意見を生かしたい」と公約を発表。「学校生活が楽しくなるようにしたい」などと将来像を插いた。

司会を務めた「知りたがりi s m」の知念幸見さん(22)は「琉球大4年」は収録で「生徒たちの熱気が伝わった。大人たちも中学生に負けないよう知事選に向けてしっかり考え、大切に一票を投じて」と聴取者に呼び掛けた。

司会を務めた生徒会役員の久手堅翔太君(15)は「3年」は「国や県にものを言える唯一の機会が投票。20歳になったら人気投票ではなく、しっかり政策を見て投

票したい」と語る。

立候補者の1人で、収録で「全校生徒にアンケートし、意見を生徒会運営に反映させたい」と公約した大見謝望君(14)は「2年」は「会長に選ばれたら、公約